

What is claimed is:

1. トナー粒子の円形度の平均値が0.94から0.99であり、かつ、円相当径の平均値が2.6から7.4 μm のトナーで、トナー像を形成するために、
像担持体上に形成された静電潜像を現像する工程、
形成されたトナー像を転写材に転写する工程、
前記像担持体上に残存した未転写トナーを画像形成に再利用するために回収する工程、
回収された未転写トナーを、トナー中間室を通過させる工程を有する画像形成方法。
2. クレーム1において、前記トナー中間室は、垂直に配置された円筒又は円錐型の部位を有し、気体の旋回流を利用して、紙粉、あるいはトナー顆粒を前記トナー中間室下部へ分離することを特徴とする画像形成方法。
3. クレーム1において、前記トナー粒子の円相当径に対する円形度の傾きが-0.050から-0.010である、画像形成方法。
4. クレーム1において、前記トナーは樹脂粒子を水系媒体中に分散させた分散液を用い、該樹脂粒子を水系媒体中で凝集させる工程を経て得られたものである、画像形成方法。
5. クレーム1において、前記トナーは樹脂を有し、その樹脂がポリエステル樹脂、無定形のポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、エポキシ樹脂又はポリオ

ール樹脂である、画像形成方法。

6. クレーム 1 において、前記トナーは樹脂を有し、その樹脂は無定形のポリエステル樹脂である、画像形成方法。
7. クレーム 6 において、前記無定形のポリエステル樹脂は、ウレタン変性ポリエステル樹脂である、画像形成方法。
8. クレーム 1 において、前記円形度の平均値が 0.95 から 0.98 である、画像形成方法。
9. クレーム 1 において、前記円相当径の平均値が 3.4 から 6.6 μm である、画像形成方法。
10. クレーム 1 において、円相当径に対する円形度の傾きが -0.040 から -0.020 である、画像形成方法。
11. クレーム 2 において、前記トナーが重付加又は重縮合反応により得られた樹脂を含有し、その樹脂がポリエステル樹脂、無定形のポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、エポキシ樹脂又はポリオール樹脂のいずれかを含有し、前記トナー粒子の円相当径に対する円形度の傾きが -0.050 から -0.010 であり、前記円形度の平均値が 0.95 から 0.98 であり、前記円相当径の平均値が 3.4 から 6.6 μm である、画像形成方法。
12. クレーム 11 において、前記トナー中間室が、回収されたトナーを受け入れることが可能なトナー受け入れ口、分離されたトナーを排出することが可能なトナー排出口及び気流を前記中間室に取り込むことが可能な気流流入口を

有し、前記トナー受け入れ口の少なくとも一部は前記気流流入部の鉛直方向に対して、上方に位置する、画像形成方法。

13. クレーム11において、円相当径に対する円形度の傾きが -0.040 から -0.020 である、画像形成方法。

14. クレーム1において、トナーを前記トナー中間室にて分離する工程を有し、前記トナー中間室は、円筒又は円錐型の部位を有する、画像形成方法。

15. クレーム14において、気流により、前記トナーを前記トナー中間室から搬出する行程を有する、画像形成方法。

16. クレーム14において、前記トナー中間室が、回収されたトナーを受け入れることが可能なトナー受け入れ部、分離されたトナーを排出することが可能なトナー排出部及び気流を前記中間室に取り込むことが可能な気流流入部を有する、画像形成方法。

17. クレーム16において、前記トナー受け入れ部の少なくとも一部は前記気流流入部の鉛直方向に対して、上方に位置する、画像形成方法。

18. クレーム1において、前記トナーが離型剤を有する、画像形成方法。

19. クレーム1において、転写されたトナーを定着する工程を有する、画像形成方法。

20. トナー受け取り部、前記トナー受け取り部へトナーを送り出すためのトナー送り出し部、前記トナー送り出し部と前記トナー受け取り部へトナー搬送の際、トナーが経由するトナー中間室、前記トナー中間室と前記トナー受け取り

部とを連結し、トナーを前記中間室から前記トナー受け取り部へ搬送するための輸送管及び、前記中間室からトナーを気流により搬送するための搬送装置を含有する画像形成装置であって、前記トナーが トナー粒子の円形度の平均値が0.94から0.99であり、かつ、円相当径の平均値が2.6から7.4 μm のトナーである、トナーリサイクル可能な画像形成装置。